

令和3年1月14日

厚生労働大臣
田村 憲久 様

公益社団法人全国老人福祉施設協議会
会長 平石 朗
公益社団法人全国老人保健施設協会
会長 東 憲太郎
公益社団法人日本認知症グループホーム協会
会長 河崎 茂子

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について（要望）

新型コロナウイルス感染拡大に関する対応について、多大なるご尽力を賜り心より御礼申し上げます。

今般、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、再び1都3県に緊急事態宣言が出されたところです。介護施設や在宅介護の現場では、この宣言の有無にかかわらず、重症化リスクの高い要介護高齢者への感染を防ぐため、その命を守るための努力を日夜懸命に続けています。また、これ以上の医療崩壊や介護崩壊を招かないためにも、早急なワクチン接種が期待されているところです。

この度、新型コロナウイルス感染症対策分科会において「新型コロナウイルス感染症に係るワクチンの接種について（案）」が示され、接種順位については、新型コロナウイルス感染症患者に直接医療を提供する施設の医療従事者等並びに、高齢者及び基礎疾患を有する者を接種順位の上位に位置付け、次に、高齢者施設等の従事者への接種となっております。

そこで、高齢者施設において入所者にワクチン接種をする場合、施設に従事する職員も同時に接種することにより、接種の負担を軽減することができると考えます。また高齢者施設においては、施設内感染の原因の多くが職員によるものと考えられ、職員に同時に接種することによりクラスター対策に資するものと思われま。

その地域の多くの高齢者等の生活を守るため、介護崩壊を招かないためにも、高齢者施設における介護従事者のワクチンの同時接種について強く要望いたします。